

横浜市福祉サービス第三者評価
評価結果報告書
小雀みどり保育園

平成 28 年 9 月

評価実施機関

特定非営利活動法人

よこはま地域福祉研究センター

目 次

| | |
|--------------------------|----|
| 実施概要..... | 1 |
| 評価結果についての講評..... | 2 |
| 分類別評価結果..... | 4 |
| 評価領域Ⅰ 利用者（子ども本人）の尊重..... | 4 |
| 評価領域Ⅱ サービスの実施内容..... | 7 |
| 評価領域Ⅲ 地域支援機能..... | 11 |
| 評価領域Ⅳ 開かれた運営..... | 12 |
| 評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上..... | 13 |
| 評価領域Ⅵ 経営管理..... | 14 |
| 利用者家族アンケート分析..... | 15 |
| 利用者本人調査..... | 19 |
| 事業者コメント..... | 22 |

◆ 実施概要 ◆

| | |
|--------|--------------------------------------|
| 事業所名 | 小雀みどり保育園 |
| 報告書作成日 | 平成 28 年 8 月 16 日 (評価に要した期間 4 カ月間) |
| 評価機関 | 特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター |

* 評価方法

-
1. 自己評価 【実施期間：平成 28 年 5 月 2 日～6 月 24 日】
 - ・職員会議で趣旨等を説明後、一人一人が記入した。
 - ・全職員を 4 つのグループに分け、個人が記入した自己評価票をもとにグループごとに意見交換をしながら、1 項目ずつ確認を行った。
 - ・その後、職員会議にて協議し、合意して、一つにまとめた。
-
2. 利用者家族アンケート調査 【実施期間：平成 28 年 6 月 6 日～6 月 20 日】
 - 配 付：全園児の保護者（51 家族）に対して、園から手渡しした。
 - 回 収：保護者より評価機関に直接返送してもらった。
-
3. 訪問実地調査 【実施日：平成 28 年 7 月 20 日、7 月 22 日】
 - 第 1 日目
 - 午 前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。
 - 午 後：書類調査／事業者面接調査（園長）
 - 第 2 日目
 - 午 前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。
 - 午 後：職員ヒアリング調査
(主任・リーダー保育士 2 名・非常勤保育士 1 名・新入保育士 1 名・栄養士 1 名)
事業者面接調査（園長、主任）
-
4. 利用者本人調査 【実施日：平成 28 年 7 月 20 日、7 月 22 日】
 - ・訪問実地調査の両日とも各クラスの午前中の保育時間を中心に、食事、排せつ、午睡の状況、登降園の様子等を観察。
 - ・乳児については主に観察調査、幼児については観察と食事の時間等に適宜聞き取り調査を実施。
-

◆ 評価結果についての講評 ◆

【施設の概要】

小雀みどり保育園は、JR 大船駅からバスで「常勝寺」バス停から 5 分ほど歩いたところにあります。周囲には畑や森、公園などがたくさんあり、子どもたちが季節の自然を楽しむことができます。

小雀みどり保育園は、昭和 41 年（1966 年）9 月「みどり共同保育所」として開園し、保育所職員と保護者、地域が手を取り合って運営してきました。その後、無認可保育所から地域保育室（平成 5 年～8 年）、横浜保育室（平成 8 年～23 年）となり、平成 23 年（2011 年）9 月認可保育園として開園しました。運営法人は特定非営利活動法人みどり会で、法人はほかに戸塚区に 1 園認可保育園を運営しています。

認可保育園開園時に新築した木造 2 階建ての園舎は天然木材で建てられ、壁には珪藻土を用いる等、化学物質を一切使わない建物となっています。1 階を園舎として用い、2 階は会議室や職員の休憩室などに使われています。園庭は、隣接する旧園舎の園庭も用いていて、砂場や保護者手作りの登り棒などが設置されています。一角では子どもたちが季節の草花や野菜を育てています。

定員は 60 人（産休明けから就学前まで）、開園時間は、平日は 7 時～20 時、土曜日は 7 時～18 時です。

保育理念として「未来を担うこどもたちが、集団の中で生き生きと保育されることによって、発達がかなえられるようにしていくこと」「保護者と保育者がしっかり手をつなぎ互いに力を出し合い、支えあって人間として成長していける保育所づくりをめざすこと」「保護者が安心して働けることができるよう、支えていくこと」「保育所を根拠として、地域のこどもたちと保護者、専門家などと協力し合い、地域を知り、住みよい街づくりに参加していくこと」「理念の実現のため、平和な社会をつくる責任の一端を果たしていくこと」を掲げています。

1. 高く評価できる点

●豊かな自然環境の中、子ども主体の保育が実践されています

園の周囲は豊かな自然に恵まれていて、畑や田んぼ、山や森、公園と子どもたちが季節の花や野菜、果実、虫や鳥等、四季の変化を楽しむことができます。散歩先で子どもたちは、ザリガニ釣りをしたり、カエルやバッタを追いかけたり、カナヘビを捕まえたりしています。また、園でザリガニの脱皮を観察したり、カタツムリを卵から育てたりと自然の営みを肌で感じ、園庭では水を大胆に用いて泥んこ遊びを楽しむなどして水や土の感触を味わっています。

保育士は子どもたちの言葉に丁寧に耳を傾け、子どもの思いを聞きとっています。言葉でうまく自分の思いを表現できない子どもに対しては、誉めたり言葉を足したりして、子どもの思いを引き出しています。このような保育士の働きかけのもと、幼児になると自分たちで話し合っその日の活動を決めることができます。子どもの興味や関心、その日の健康状態などで変更できるよう指導計画は柔軟なものになっていて、子どもたちは一人でゆっくりと自分の好きな遊びに取り組みんだり、友達とゲーム性のある遊びをしたりして、それぞれのペースでのびのびと毎日を過ごしています。

●全職員が連携し、理念の実現に向けて取り組んでいます

共同保育所からの 50 年、保育士は保護者と話し合いを重ねながら、高い意識を持って保育理念の実践に向けて取り組んできました。入職時の研修や職員会議、園内研修などで常に保育理念に立ち戻り、確認しています。毎月の職員会議では、子どもやクラスの状況について振り返り、次月の計画につなげています。また、年度末には個々の職員が担当やクラス、部会、研修などについて総括を文章で記しています。それを基にクラスでも、運営や保育内容について総括をし、年度末の職員会議で園としての総括をしています。このような、取組を通し、保育士は理念に沿った保育の実現を目指しています。

また、研修も盛んで、園内研修でその時の課題をテーマに学習するとともに、園外の研修にも積極的に参加し研鑽に励んでいます。研修の成果は、職員会議で報告するとともに、保育環境の整備等、保育の現場で活かしています。

●共同保育所時代から 50 年、園は地域に溶け込んでいます

共同保育所時代から 50 年が経過し、これまでに多くの保護者 OB や卒園生が巣立ち、地域に根付いて様々な分野で活躍しています。これらの人々は日常の交流を含めて園を支えています。

園は地域の施設として、地域、保護者との輪を大切にしている、町内会や地域の神社、小雀公園などの会合や行事に参加し、交流しています。第三木曜日に園庭開放「遊ぼう会」や育児講座を地域の親子向けに実施したり、資源回収を地域に呼び掛けたり、隣接する旧園舎を地域に貸し出すなどの取組もしています。

子どもたちも地域の行事に参加したり、老人会と「おじいちゃん・おばあちゃんの会」で交流したりし、地域を知るだけでなくさまざまなことを得ています。

このように、長い歴史を通し、園は地域にしっかりと溶け込んでいます。

2. 独自に取り組んでいる点

●職員と保護者が一緒に保育園運営に関わっています

園の運営は職員と保護者が一緒に行っています。年一度の全職員と保護者が出席する総会では、前年度の総括を報告しその年の方針を決めています。保育園運営は保護者から選ばれた運営委員会が中心になっておこない、職員と保護者は全員、バザー、渉外、環境安全などの部会に分かれ、一緒に活動しています。

子どもたちのためにという保護者の思いは、運営委員会や部会で園と話し合い調整し、環境作りや行事などの事業計画に反映されています。

●給食室との交流を通し、子どもたちの食への関心が自然な形で育っています

園は給食を「おいしく、楽しく、安全に！～食べることは生きること～」と大切に考えていて、その具象化として、給食室が園の中心にある構造となっています。給食室のカウンターは子どもの目線に合わせ低くなっていて、子どもが家庭にいるかのように給食を作る様子を見て、給食室職員と自然に会話ができるようになっています。カウンターには椅子が一つ置かれ、子どもたちは集団から離れ一人になりたいときに来て、給食室職員の背中を見ながらクールダウンしたり、話を聞いてもらったりすることができます。給食室職員はこのような交流を通して、一人一人の子どもたちの顔と名前や性格や癖、その日の子どもたちの様子などを把握しています。

調理する音や給食の匂いが保育室に広がり、その日の給食のメニューへの子どもたちの興味が自然にわいています。給食のときには、4・5 歳児は一列になってそれぞれの給食を取りに行ったり、下げに行ったりし、給食室職員と会話し、食への関心を高めています。何気ない会話の中で把握された子どもの嗜好は献立作りに反映しています。また、その日畑で採れた野菜を持って行って調理の手伝いをしたり、クッキングをしたりなどの食育の取組もあり、子どもたちの食への関心が自然な形で育っています。

3. 工夫・改善が望まれる点

●時代の変化に合わせた保護者参加の在り方を検討されることが期待されます

共同保育所時代から、園は保護者との輪を大切にしてきました。保護者も園の方針をよく理解していて、保護者アンケートの「基本方針を知っているか」の 97.3%の認知度や総合的な満足度の 94.4%などにつながっています。ただし、自由意見欄には保護者の負担が大きいことに対する記述がいくつか見られます。

認可保育園となったことや時代の移り変わりによる保護者の抱える課題の変化などを鑑み、園が大切にしている保護者との輪を継続しながらも、保護者の負担を軽減することが必要かと思われます。時代の変化に合わせた保護者の参加の在り方について保護者を交えて検討されることが期待されます。

●マニュアルや記録のさらなる整備が望まれます


園は、各種マニュアルを策定するとともに、必要な記録をしています。マニュアルは全て策定しているものの、一部マニュアルについては要点だけで、どのような手順で行うのか具体的な方法や配慮事項などが示されていないものもあります。また、記録も児童票や日誌、会議録などに必ず書かれているものの、要点だけで経緯などが書かれてなかったりファイリングの整理が不十分であったりし、一目で見つけられないものがあります。現在は経験の長い職員が多く、要点だけで全てを把握することができますが、今後は、新人職員等、どの職員が見ても一目で分かるようマニュアルや記録のさらなる整備が望まれます。


◆ 分類別評価結果 ◆



3つ：高い水準にある / 2つ：一定の水準にある / 1つ：改善すべき点がある


評価領域 I 利用者（子ども本人）の尊重


| 評価分類 I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成 | 評価結果 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育理念として「未来を担う子どもたちが、集団の中で生き生きと保育されることによって、発達がかなえられるようにしていくこと」「保護者と保育者がしっかり手をつなぎ互いに力を出し合い、支え合って人間として成長していける保育所づくりをめざすこと」「保護者が安心して働き続けることができるよう、支えていくこと」「保育所を根拠として、地域の子どもたちと保護者、専門家などと協力し合い、地域を知り、住みよい街づくりに参加していくこと」「理念の実現のため、平和な社会をつくる責任の一端を果たしていくこと」を掲げています。園のしおり、パンフレットに保育理念を掲載しています。しおりを全職員、保護者に配布するとともに、玄関、各保育室に置き、いつでも確認できるようにしています。 ・ 年度末の職員会議で全職員で保育課程の総括を行い、次年度の保育課程を作成しています。保育課程は、保育理念に沿い、地域の実態や保護者の状況を考慮したものとなっています。園のしおりに保育課程を綴じ込み、保護者に配布し、それに基づき、入園説明会や総会で保育課程について、園長が具体的に説明しています。 ・ 保育課程に基づき、年齢ごとに養護と教育の各項目に沿って指導計画を作成しています。保育士は子どもに問いかけ、子どもの表情や仕草、言葉などから子どもの意向を汲み取っています。保育士は、子ども一人一人が自分の意思を言葉で表現できるよう、言葉をかけたり励ましたりし、子どもの声を引き出しています。子どもの好きな絵本を一年間の取組のテーマに決めて、子どもと話し合ってお泊まり会やおたのしみ会に取り入れる等、子どもの興味や関心を計画に反映しています。子ども同士で話し合っ散歩の行き先やその日の活動内容を決める等、子どもが主体的に活動できるようにしています。 |  |

| 評価分類 I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施 | 評価結果 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 入園前に園長、担任、栄養士が保護者に面接しています。面接時には園の沿革や職員と保護者が一緒に運営していること等、園の特徴を丁寧に説明し、保護者の同意を得ています。入園前に、保護者に入園までの生育歴や家庭での状況を児童票、健康台帳に記入してもらい、把握しています。把握した情報は記録するとともに、打ち合わせや職員会議で共有しています。 ・ 子どもや保護者の状況に合わせて、保護者と話し合い、ならし保育（短縮保育）を実施しています。0・1歳児の新入園児に対しては、受け入れ時などの主担当保育士を決め、安心できるように配慮しています。在園児に対しては、進級の際に複数担任のクラスは担任が一人持ちあがるようにしています。 ・ 子どもの発達や状況に応じて、年間指導計画、月案、週案を作成しています。指導計画はクラスで作成し、職員会議で話し合い、共有しています。子どもレストランや夏祭り等、保護者と意見交換をしながら、保護者の意見を計画に取り入れています。 |  |

| 評価分類 I-3 快適な施設環境の確保 | 評価結果 |
|--|------|
| | |
| <ul style="list-style-type: none"> 日々の清掃は清掃点検チェック表を用い実施していて、園内外とも清潔に保たれています。草取りなどは、職員と保護者による環境安全が中心となり、全職員、全保護者で取り組んでいます。窓をこまめに開け自然の風を通す等、自然の換気を大切にしていますが、必要に応じてエアコンを用いています。 幼児はワンルームとなっておりますが、活動内容に応じて保育室を仕切っています。また、隣のクラスが落ち着いた活動をするときには園庭で遊ぶ等、お互いに連携しています。保育士は穏やかに子どもたちに話しかけていて、騒音になるようなことはありません。 0歳児保育室に沐浴、1歳児保育室、2歳児保育室、幼児のテラスには温水シャワーの設備があり、清潔に保たれています。 異年齢児間の交流の場としては給食室前のホールがあります。0歳児前の廊下を通る幼児が0歳児とサークル越しに遊ぶ、給食室に来る幼児が乳児に声を掛ける等、日常的に異年齢が交流する姿が見られます。 | |


| 評価分類 I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力 | 評価結果 |
|---|------|
| | |
| <ul style="list-style-type: none"> 0・1・2歳児は個別指導計画を作成しています。幼児についても、特別な課題がある場合には、個別指導計画を作成しています。毎月の職員会議や毎週の打ち合わせで子どもの様子について話し合い、計画を柔軟に変更、見直しています。離乳食、トイレトレーニング、アレルギー対応などの留意点について、保護者に伝え意見交換しています。 入園時に、個別の状況や要望を保護者に児童票に記載してもらっています。乳児は保育日誌に個別に子どもの様子を記載し、月ごとに項目別に経過記録にまとめています。幼児は4期に分けて経過記録に記載しています。子どもの記録は、事務室の鍵のかかるロッカーに保管し、必要な職員は見ることができます。 | |


| 評価分類 I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み | 評価結果 |
|--|---|
| |  |
| <ul style="list-style-type: none"> • 特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れています。 • 職員は、横浜市や戸塚区、横浜市戸塚地域療育センターが主催する障害児保育などの研修に積極的に参加し、学習しています。学習の成果は、職員会議で報告し共有しています。また、園内研修で外部講師による「気になる子どもへの対応」をテーマに学習するなどしています。聴覚障害児が在籍していたときには、手話講習会を開催し、保護者も一緒に学習したなどの事例もあります。 • 保護者の同意を得て、戸塚区役所や横浜市戸塚地域療育センターから助言や情報を受け、連携しています。障害の特性を考慮した個別指導計画を作成するとともに、日々の子どもの様子を打ち合わせや職員会議で話し合い、同じ対応がとれるようにしています。 • 虐待が明白になった場合や、疑わしい場合、見守りが必要な場合には、戸塚区役所や横浜市南部児童相談所、保健師、民生・児童委員などの関係機関と連携する体制を整えています。 • 食物アレルギーの子どもに対しては、子どものかかりつけ医の生活管理指導表に基づき、保護者と連携し除去食を提供しています。食物アレルギー対応マニュアルを整備し全職員に周知しています。毎月の職員会議で献立表に目を通し、アレルギー食材を全職員で確認しています。除去食を提供する場合には、給食室、クラス、提供するテーブルの3箇所複数の職員で確認しています。提供時には、お盆の色を変え、名前の付いたクリップを付け、別テーブルで傍に保育士が付き、誤食を防いでいます。 • 外国籍等、文化や習慣が異なる子どもに対しては、日本の文化を無理強いすることなく、それぞれの文化を尊重しています。保育士は子どもたちに色々な国の話をするなどし、子どもが自然に受け入れられるように働きかけています。保護者に対しては、意思疎通が困難な場合には知り合いの通訳を頼むなどしています。 | |


| 評価分類 I-6 苦情解決体制 | 評価結果 |
|---|---|
| |  |
| <ul style="list-style-type: none"> • 苦情解決責任者は園長、苦情受付担当者は主任です。第三者委員、苦情解決の仕組みを玄関に掲示するとともに、園のしおりに掲載し、保護者に周知しています。 • 総会、懇談会などで積極的に保護者の意見を聞いています。また、送迎時などの日常会話に努め、保護者の意見、要望の把握をしています。玄関に意見箱「ひとこと箱」を設置しています。また、部会がアンケートでも意見・要望を聞いています。 • 日常会話や連絡帳などで寄せられた保護者の要望、意見はすぐに園長、主任に報告する体制ができています。保護者の意見、要望は、職員会議や打ち合わせで対応について話し合っています。保護者に対しては、無記名のものは公表しています。苦情・要望は記録しデータとして活用しています。 | |


評価領域Ⅱ サービスの実施内容


| 評価分類Ⅱ－1 保育内容 [遊び] | 評価結果 |
|---|---|
| |  |
| <ul style="list-style-type: none">• おもちゃや教材などは子どもの手の届く場所に保管され、自分で取り出して遊べるようになっています。布製のボールや袋物、人形、ままごと用具、ブロックなどが箱やカゴに収納され、子どもたちが片付けやすいよう配慮しています。4歳児からは、個別の道具箱をロッカーに置き、自由に使えるようになっています。年齢や発達、子どもの興味に合わせたおもちゃや絵本が用意され、季節や発達に合わせて保育室の様様替えやおもちゃの入れ替えをしています。• 本棚の前に畳のコーナーを作ったり、押し入れの下などを使って、それぞれが落ち着いて遊べる環境を確保しています。1歳児の保育室の押し入れの下はホールが見えるガラス窓がついて子どもたちが楽しめる場所になっています。• 子どもの自由な発想を受け止め、それを集団活動に取り入れる柔軟な対応をしています。例えば「かわいそうなぞう」を読んだ子どもの動物園に行きたいという要望を聞き、集団活動として上野動物園に出かけました。• 保育士は、子どもたちがみんなで遊ぶ楽しさを知り、遊びを通してルールを守ることを年齢に応じてわかるよう配慮しています。氷鬼、ドッチボール、ドロケイ等、ルールのある遊びを取り入れています。4・5歳児は鬼ごっこの際、自分たちで考えた方法で鬼決めを行い、遊んでいました。• 子どもたちはトマト、ピーマン、インゲン等、夏野菜の世話をして育て、植物の成長や収穫の喜びを体験し、クッキングをするなどの機会を作っています。山形での田植え体験のときに苗を分けしてもらい、園でバケツ田んぼと称して育て、自分たちで脱穀して食べます。また、散歩で見つけたカタツムリやザリガニ、カナヘビなどを飼育して保育活動にフィードバックしています。• 散歩や園外活動を通して、地域を知り、自然に触れる機会を積極的に作っています。幼児は月3回、2歳児は月1回お弁当の日を設けて遠方まで出かけ、年齢に応じて歩く距離を伸ばしています。• 子どもの年齢や発達状況にあわせて自由に表現できるよう、制作や絵、歌、手遊び、リズム遊びなどを行っています。リズム遊びは週1回ピアノの音とリズムに合わせて0歳から参加しています。クラス毎や、乳児クラス、幼児クラスと発達に応じて分けてホールで行っています。• 子ども同士のけんかなどについては、幼児は自分の思いを伝え相手の気持ちを聞く大事な機会と捉え、子ども同士が納得して解決できるよう援助しています。年齢に応じて乳児は危険のないように保育士が間に入って気持ちの代弁をしています。• 職員は常に公平で温かい態度・言葉遣いなどで子どもに接し、寄り添うことで信頼関係が築けるよう努めています。職員は、子どもたちへの態度や言葉遣いなどについて、機会あるごとに職員会議で話し合っています。• 天気の良い日は積極的に散歩や園外活動を取り入れて自然に親しむようにしています。散歩マップや散歩時の危険ポイントを参考にして、目的に応じた散歩先を選んで自然の変化に気付くよう配慮しています。• 発達過程に応じて運動能力を高められるよう、ホールでのリズム遊びや木製の滑り台や平均台などを使って身体を動かして遊べる環境を作っています。発達に応じて散歩時に階段の昇り降りや斜面を歩き足を踏ん張る等、身体全体を使って活動できるよう工夫しています。また、園は皮膚の鍛錬は自律神経系統が鍛えられ、情緒も安定するとして“はだかんぼ”保育を推奨し、1歳児から年間保育計画に記載して実施しています。 | |


| 評価分類Ⅱ－１ 保育内容【生活】 | 評価結果 |
|--|---|
| |  |
| <ul style="list-style-type: none"> • 園は給食を「おいしく、楽しく、安全に！～食べることは生きること～」と大切に考え、「給食室年間計画」を作成しています。給食室は園舎の中心にあるので、子どもたちに調理風景や調理過程が匂いと共に伝わり子どもたちは給食を心待ちにしています。乳児は自分で食べること、口に運ぶことを大切にして声を掛け、援助しています。 • 子どもたちが食事やその過程に関心を持つように、年齢に応じて野菜の皮むき等、下処理を行ったり、クッキングを実施したりしています。4・5歳児は一列に並んで給食室に茶碗とおかずを取りに行き、給食室職員と会話をしながらおかずを受け取っています。また、4・5歳児は当番活動として配膳、片付けの手伝いをしています。 • 季節感を大切に旬の食材を使い、「まつり寿司」「うなぎ寿司」等、季節の行事に合わせた献立を取り入れて、食事作りに配慮しています。 • 食器は安定感とぬくもりがあるとして陶器を使用しています。子どもの成長・発達に合わせてご飯茶碗、汁椀、主皿等、大きさの違うものを使う等、安全性や発達段階に配慮しています。食材は農薬、添加物の少ない安全な食材を使用し、検品・温度管理を行い、保管しています。 • 各クラスの保育士から子どもの嗜好を確認して食材や調理方法を工夫しています。1カ月に2回同じメニューを提供する「サイクルメニュー」を取り入れていて、例えば、切り昆布が固く残食が出たときは、2回目に調理方法を変える等、工夫しています。給食室職員は、毎日全クラスの子どもの食事の様子を見にクラスを回っています。 • 毎月配布される「園だより」に『給食室だより』を掲載し、献立作成のポイント、季節の食材、子どもの好きな献立など情報提供しています。給食懇談会、クラス懇談会では給食室職員が出席して、栄養・味付け・食べ方等、保育所で配慮していることを伝えています。父親懇親会、母親懇親会では給食を提供して試食する機会を設けています。 • 子どもの顔が見える明るさを保てるようカーテンを引いた保育室で、保育士は子どもが安心して心地良い眠りにつけるよう見守っています。 • 0歳児クラスから、おまるに座り、おまるに排尿することに成功している子どももいます。2歳児クラスになると、日中はパンツにする等、トイレトレーニングは一人一人の状況をみて個別に対応しています。園では布オムツを使用しています。子どもがトイレに行きたがる、オムツが濡れていない等、保育園での排泄状況を送迎時に口頭で伝えたり、連絡ノートに記入したりして保護者と常に連携をとっています。 | |

| 評価分類Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 【健康管理】 | 評価結果 |
|--|---|
| |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ・「保健計画」を作成し、計画的に子どもたちの健康管理を行っています。「健康管理マニュアル」の中に、朝の受け入れ時や保育中の観察事項、視診のポイント、発熱時・下痢のときの対応等を掲載して、それに基づいて対応しています。朝は保護者に「健康チェック表」を記入してもらい、職員は視診をし、口頭でも様子を聞いて受け入れています。園での子どもの健康状態は必要に応じて保護者に連絡を行い、降園時に口頭で状況を伝えたりして降園後の対応を話し合っています。 ・園での食後の歯磨き指導は、4歳児から行っています。歯科健診の際、歯科医から歯磨き指導を受けて、その後歯科衛生士から歯磨き指導を年2回受けています。 ・健康診断・歯科健診の結果は、あらかじめ周知した書式で速やかに保護者に伝え、治療や検査が必要な場合は早目の受診を促すようにしています。 ・健康管理マニュアルには「感染予防について」「感染症に気を付けよう」「嘔吐物処理方法」などの項目があり、対応方法が明記されています。入園時のしおりに登園停止基準や保育中に感染症などの疑いが生じた場合の対応が記載され、保護者に周知しています。各保育室にも掲示しています。 | |


| 評価分類Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 【衛生管理】 | 評価結果 |
|--|--|
| |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理に関するマニュアルがあり、「厚労省保育所における感染症対策ガイドライン」を添付して、使用しています。マニュアルは職員会議で定期的に話し合わせ見直しをしています。 ・マニュアルは職員会議で定期的に読み合わせを実施、さらに各保育室に業務マニュアルが整備され、すぐ開くことができます。清掃点検チェック表に基づき清掃などが行われ、清潔で適切な状態が保たれています。 | |


| 評価分類Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 【安全管理】 | 評価結果 |
|---|---|
| |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ・「安全保育マニュアル」「緊急時対応マニュアル」「お散歩マニュアル」などの安全管理に関するマニュアルがあります。マニュアルは事故防止、散歩時の安全、迷子、ケガ、不審者、災害等を想定して適切に記載されています。毎月地震や火災、不審者対策などについての避難訓練を行っています。マニュアルは各保育室に配置され、各保育室の壁には「2016年避難訓練計画」「自衛消防職と任務分担」を掲示して災害に備えています。 ・子どものケガについては、担任から園長・主任に報告し保護者に状況を報告しています。子どものケガについては軽傷であっても口頭で直接保護者に伝えるよう配慮しています。ケガの状況はヒヤリハット報告書、事故報告書に記録しています。 ・警備会社のセキュリティシステムを導入しています。不審者に関する情報は、戸塚区からの情報メールで入手しています。不審者対策の訓練を園内や散歩時を想定して実施しています。 | |

| 評価分類Ⅱ－3 人権の尊重 | 評価結果 |
|---|---|
| |  |
| <ul style="list-style-type: none"> 子どもに対して威圧的な言葉遣い、無視が行われないよう、職員間ではお互いに気付きを話し合えるよう配慮しています。保育士は子どもたちの気持ちを尊重して日々の保育を実施しています。子どもの人格を辱めたり、自尊心を傷つけてはならないことを職員会議で話し合い、全職員が共通理解として認識しています。 各保育室の押し入れの下に子どもがもぐり込めるスペースを作り、ほかの人からの視線を意識せず過ごせる場所を用意しています。 個人情報取り扱いについては、入園時の保護者説明会などで保護者に説明し、了解を得ています。 働く女性を支える保育園として、子どもや保護者に対して父親・母親の役割を固定的にとらえた話し方や表現はしていません。職員同士は気付いたとき、その場で指摘することができる風通しの良い関係を築くよう配慮しています。全体で認識した方がよいときは、職員会議で話し合い、反省する仕組みを作っています。 | |


| 評価分類Ⅱ－4 保護者との交流・連携 | 評価結果 |
|---|---|
| |  |
| <ul style="list-style-type: none"> 保護者には、保育の基本方針が理解できるよう入園説明会や年度初めに行う懇談会などで説明する機会を設けています。保護者には入園のしおりと一緒に保育課程も配布しています。懇談会、総会、ひとこと箱、運営委員会等、保護者から直接意見を聞く機会を通して保育方針が理解されているか把握しています。利用者家族アンケート調査でも97.3%（回収率70.6%）が知っていると答えています。 クラス全体の様子を伝えるクラス懇談会を年2回実施しています。そのほか、地域別懇談会、父親懇親会、母親懇親会をそれぞれ年1回実施しています。 相談を受けた保育士が適切な対応ができるよう、園長や主任が助言しています。相談内容によっては園長や主任が同席して面談を実施しています。 毎月「園だより」「クラスだより」を発行して園での様子、クラスの様子、エピソードを伝えています。日常の保育の様子を写真に撮って保育室やホールに掲示したり、父親、母親懇談会でスライド上映して保護者に保育の様子を伝えるよう努めています。 いつでも保育参観ができることを保護者に伝えています。保護者はいもほりなど一緒に保育参加して体験したり、離乳食等、子どもの食事の様子を見たり、誕生会の様子を参観しています。保育参観、懇談会などに出席できなかった保護者には「おたより」を作成し、配布してフォローをしています。 職員と保護者による部活動（バザー部、渉外部、環境安全部、文化部、企画部、広報部）があり、職員も一緒に積極的に参加し、活動しています。保育園の運営は保育園職員と保護者が組織する運営委員会が行ない、積極的にコミュニケーションをとっています。 | |


評価領域Ⅲ 地域支援機能


| 評価分類Ⅲ－1 | 評価結果 |
|---|---|
| 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供 |  |
| <ul style="list-style-type: none">積極的に地域住民と交流するよう努めています。園長は、町内会や五霊神社、小雀公園の会議に出席し、清掃などの地域の手伝いに参加して、施設に対する要望を把握する機会を作っています。戸塚区の園長会で子育て支援について検討し、横浜市南部児童相談所、戸塚警察署、大正消防出張所等、多くの機関が加わる「子育て支援会議」に参加しています。地域での子育て保育を支援するため、一時保育、交流保育、園庭開放を提供しています。地域の親子と園児の交流を目指した「あそぼう会」は毎月1回“どろんこ”“おもほり”“リズム遊び”“お正月遊びの会”等、親子で楽しむことができるプログラムを行っています。園では、地域住民向けに「おいしく食べて、体づくり」「子育ての悩み、なんでも相談」「子どもと楽しむクラシック音楽」などの育児講座を開催しています。 | |

| 評価分類Ⅲ－2 | 評価結果 |
|--|---|
| 保育所の専門性を活かした相談機能 |  |
| <ul style="list-style-type: none">「保育所だより」を保護者の協力を得て、定期的に地域に3,000枚配布して情報提供しています。園では地域の人々に育児相談を受け付けていることを記載して周知を図り、育児相談を実施しています。保育園のお知らせを地域に回覧したり、町内の掲示板に掲示して情報提供に努めています。関係機関・団体として、戸塚区役所、横浜市戸塚地域療育センター、近隣保育園などと連絡を取り合い、日常的な連携ができています。 | |


評価領域Ⅳ 開かれた運営


| 評価分類Ⅳ－1 | 評価結果 |
|--|---|
| 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ・行事や音楽会などを実施するときは事前に地域住民に向けて“お知らせ”を掲示したり配布したりしています。地域住民をバザーや感謝デーに、町内の老人会の人を「おじいちゃん・おばあちゃんの会」に招待しています。 ・近隣自治会などに旧園舎の貸出しを行っています。近隣小学校と連携会議を持ち、近隣中学校から社会福祉サークルの体験実習を定期的に受け入れ、連携を図っています。 ・戸塚区保育園 10 園で「年長児交流」を実施し、小学校区毎に運動する等、活動しています。学校教育の連携として幼・保・小連携研究会に参加しています。また、地域の障害者福祉作業所のパンやクッキーを販売して交流を図っています。 | |


| 評価分類Ⅳ－2 サービス内容等に関する情報提供 | 評価結果 |
|---|---|
| |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ・園の保育理念やサービス内容などの情報をパンフレットやホームページで地域や関係機関に情報提供しています。園のパンフレットは、保育理念、保育園概要（利用時間、定員等）、給食の特徴などの基本情報を提供しています。 ・利用希望者の問い合わせに対しては、園長や事務職員が対応しています。見学日や時間は見学希望者の都合を優先し、希望に沿うよう配慮しています。 | |

| 評価分類Ⅳ－3 ボランティア・実習の受け入れ | 評価結果 |
|---|---|
| |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア受け入れのマニュアルとして「ボランティア受け入れについて」を使用していますが、子どもたちの人権やプライバシー保護・守秘義務および配慮すべき事項、注意事項などが明記されていません。今後はこれらを明記されることが望まれます。 ・ボランティアの意見を聞く仕組みを持ち、気付いた点や感想・意見を園運営に反映させています。子どもの言葉が乱暴に聞こえると指摘され、まず職員がきちんと言葉を使って手本を示そうと職員会議で話し合いました。職員は、丁寧な言葉遣いを実践していました。 ・受け入れのマニュアルとして「実習生の受け入れについて」を整備し、それに基づき、実習生に保育園の方針、利用者への配慮などを説明しています。 ・毎日、実習の振り返りを行い、実習の最終日には実習生と職員の意見交換の機会を設け、職員一人一人が保育する上で大事にしていることを伝えるようにしています。 | |


評価領域V 人材育成・援助技術の向上


| 評価分類V-1 職員の人材育成 | 評価結果 |
|---|---|
| |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成として「職員の資質向上のための研修計画」を策定しています。年度末の園長との面接で、年度の反省と達成度の評価、次年度の目標設定を行っています。 ・園長・主任が個々の職員の受講履歴、求められる資質、本人の希望などをもとに、研修計画を作成しています。 ・学習会の担当者が中心になり、職員が課題と思っていることからテーマを決め、園内研修を実施しています。また、横浜市や戸塚区、神奈川県、全国保育団体合同研究集会などの外部研修に保育士は積極的に参加しています。研修に参加した職員は研修報告書を提出するとともに職員会議で発表しています。絵カードによる保育環境の整備等、研修の成果は保育の現場で活かされています。年度末に保育士は研修について総括を行っています。 ・業務にあたっては、必ず正規職員と非常勤職員が組むように配慮しています。非常勤職員も職員会議や研修に参加しています。経験の長い非常勤職員が多く、技術や知識が若い職員に受け継がれています。 | |


| 評価分類V-2 職員の技術の向上 | 評価結果 |
|---|--|
| |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ・研修や見学で得た他の保育園の事例を職員会議で報告し、改善に活かしています。横浜市戸塚地域療育センターの巡回指導を受けています。また、職員が外部研修で積極的に発表するなどし、評価やアドバイスを受けています。 ・月案、日誌には評価の欄があり、定型化されています。自己評価は計画で意図したねらいに沿って行われています。毎月の職員会議で子どもの育ちや意欲、取り組む姿勢などについて丁寧に話し合い、自己評価しています。自己評価の結果を次月の月案作成に反映しています。 ・年度末に、職員は担当、クラス、部会、研修などについて総括をしています。また、クラスごとにクラス（年間目標、言葉、遊び、食事、個別等）、全体（法人運営、人権尊重、地域交流）、行事などについて総括を行い、職員会議で発表しています。個人やクラスの総括を基に、園全体としての総括を実施しています。給食については、別途総括しています。年度初めの総会で、保育と給食についての総括を報告し、保護者の意見を聞いています。 | |

| 評価分類V-3 職員のモチベーションの維持 | 評価結果 |
|---|---|
| |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ・「職員の資質向上のための研修計画」に初任者、中堅職員、リーダー、主任の職階ごとに専門職としての基盤、専門的価値、専門的役割、保育実践に必要な専門的知識・技術、組織性の項目について求められるものが明記されて、自分でチェックできるようになっています。栄養士については研修計画に明記しています。 ・誕生会、行事、学習等、職員の希望や経験に応じ係が決められ、現場の職員に権限移譲されています。職員会議で常に業務改善について話し合っています。職員間の風通しは良く、活発に意見交換する土壌があります。また、保護者と一緒に活動する部会が実施するアンケートでも職員の意見を募っています。 | |

評価領域VI 経営管理

| 評価分類VI-1 経営における社会的責任 | 評価結果 |
|---|---|
| |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 服務規程、「子どもとのかかわりマニュアル」などに、組織および職員が守るべき法・規範・倫理などが明文化されていて、職員会議などで職員に周知しています。 ・ 経営、運営状況は総会で職員、保護者に説明しています。 ・ ゴミの分別、資源回収などの取組を行っています。グリーンカーテン、緑地化などに取り組んでいます。また、こまめに電気を消す等、省エネルギーにも取り組んでいます。 ・ 横浜市の「緑地の保存などに関する協定地域」であることを門扉に掲示しています。また、保護者や地域に資源回収への協力を呼びかけ、ポスターや園だより、回覧などで周知しています。 | |

| 評価分類VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等 | 評価結果 |
|--|---|
| |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育理念を園のしおりに明記し、全職員に配布しています。採用時には園の運営方法や保育理念等、園が大切にしていることを丁寧に説明しています。職員会議などで、保育理念について確認しています。また、気になる事例があったときには、その都度周知しています。園長・主任は計画や日誌、配付物などに目を通し、職員が保育理念を理解しているかを確認し、必要に応じて指導しています。また、園長は、年1回の面接時に保育理念を理解できているか確認しています。 ・ 職員と保護者が園の運営を一緒に行っていて、運営委員会（いちょうの会）の下に部会があり、全職員と全保護者がどこかの部会に属しています。そのため、園長は常に運営委員会と意見交換しています。認可園に向けての取組、新園舎の建設などの重要な意思決定にあたっては、園長は職員、保護者、地域と話し合いを重ね、取り組みました。 ・ 職員、保護者はバザー、渉外部、文化部、広報部、環境安全、保護者会の部会に分かれ活動していて、保育士、給食等、異なる部門の全職員が参加しています。 ・ 主任はフリーの立場で保育の現場に入り、職員個々の業務状況を把握しています。主任は職員との日常会話や休憩時に職員の精神的、肉体的な状況の把握に努め、相談にのっています。 ・ 職員がそれぞれのライフワークバランスに沿って働き続けられるよう、常勤・非常勤の雇用形態を家庭や生活のあり方によって柔軟に変えられるなどの体制を整えています。園長、主任は常に職員の状況把握に努め、シフトの調整等、必要な配慮をしています。職員も保護者もそのことを理解していて、お互いの生活を大切にし、配慮し合う雰囲気や育っていて、職員ヒアリングでも長く働き続けることができる職場だと言う声が複数ありました。 | |

| 評価分類VI-3 効率的な運営 | 評価結果 |
|--|---|
| |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 園長は、横浜市や戸塚区の園長会、保育問題協議会、神奈川経営懇談会等、各種の会議や学習会に参加し、事業運営に影響のある情報を収集・分析しています。重要な情報は職員会議で報告し、重要改善課題として設定しています。 ・ 中・長期計画を作成し、次代の組織運営について理事会で話し合っています。 ・ 神奈川経営懇談会、税理士などから運営についてのアドバイスを得ています。 | |

◆利用者家族アンケート分析◆

【実施概要】

■実施期間：平成 28 年6月6日～平成 28 年6月 20 日

■実施方法：利用者全員の家族に対し、保育園から直接手渡しで配付、評価機関に郵送で直接送付してもらった。

■回収率：配付 51 件、回収 36 件、回収率 70.6%

★文中の「満足」「満足度」は「満足」と「どちらかといえば満足」の回答を合計した結果、「不満度」は「不満」と「どちらかといえば不満」の回答を合計した結果です。

【結果の特徴】

- 園の保育目標や保育方針について「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者の割合は 97.3%と周知度が高くなっています。「よく知っている」「まあ知っている」の中で、「賛同できる」(66.6%)と「まあ賛同できる」(22.2%)を合わせて 88.8%です。
- 項目ごとの全設問 37 問中、満足度が 90%を超える項目は 27 問です。中でも「遊び」については全項目が 90%以上です。比較的満足度が高いのは「入園時の面接などでお子さんの様子や生育歴などを聞く対応」の 100%、「自然に触れたり地域に関わるなどの園外活動」の 97.3%、「残業などで迎えが遅くなる場合の対応」「あなたのお子さんが大切にされているか」「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか」の 97.2%です。
- 比較的不満度が高いのは、「年間の保育や行事に保護者の意見が活かされているか」の 16.7%、「保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応」「送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換」の 13.9%です。
- 総合的な満足度は「満足」が 86.1%、「どちらかといえば満足」が 8.3%、合わせて 94.4%と「満足」の割合が極めて高くなっています。保護者が子どもたちの様子をみて満足をしていることが伺えます。
- 自由意見欄には、「何より子ども達を中心に考えてくださいます」「きめ細かい対応にいつも感謝しています」「保育内容、先生方の対応に満足していて、安心して預けられる」「保育環境が整っている」などの感謝の言葉が複数寄せられています。一方、「保護者の負担が大きすぎる」「懇談会を夕方ではなく日中や保育時間内にやってほしい」「個人面談をやってもらいたい」等、さまざまな意見が寄せられています。

小雀みどり保育園 利用者家族アンケート集計結果

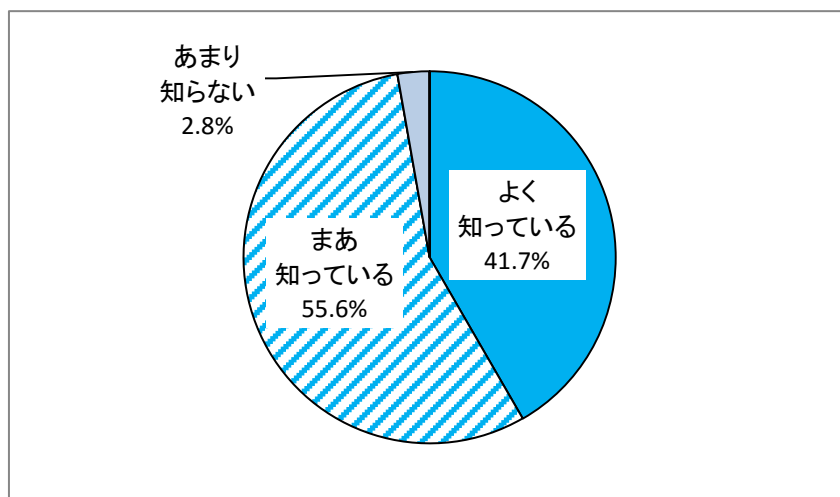
| | |
|-------|-----------------|
| 実施期間 | 平成28年6月6日～6月20日 |
| 調査対象 | 利用者家族 |
| 配布世帯数 | 51件 |
| 有効回答数 | 36件 |
| 回収率 | 70.6% |

| お子さんのクラス | 0歳児クラス | 1歳児クラス | 2歳児クラス | 3歳児クラス | 4歳児クラス | 5歳児クラス | 無回答 | (人) |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|-----|
| | 6 | 8 | 7 | 5 | 5 | 5 | 0 | |

※2人以上在籍の場合、下のお子さんのクラスで回答

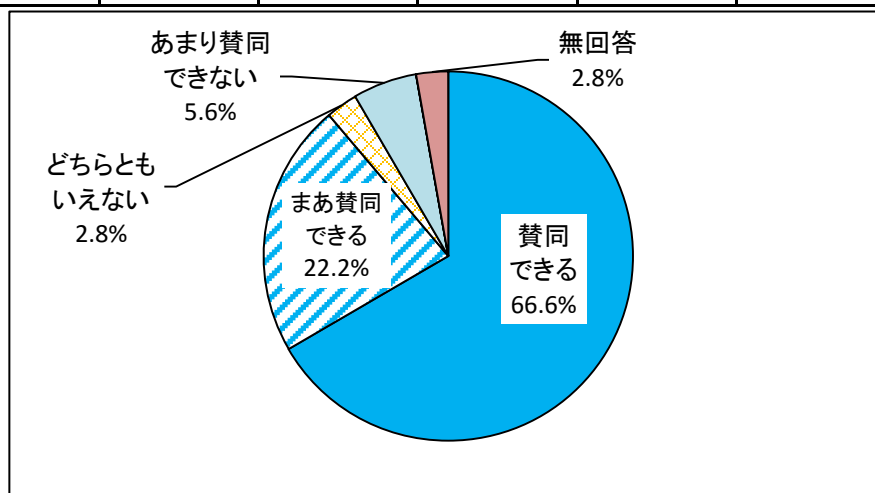
問1 保育園の基本理念や基本方針について

| | よく知っている | まあ知っている | どちらともいえない | あまり知らない | まったく知らない | 無回答 | (%) |
|---------------------------|---------|---------|-----------|---------|----------|-----|-----|
| あなたは、この園の保育目標や保育方針をご存じですか | 41.7 | 55.6 | 0.0 | 2.8 | 0.0 | 0.0 | |



1 よく知っている 2 まあ知っている とお答えの方へ

| 付問1 | 賛同できる | まあ賛同できる | どちらともいえない | あまり賛同できない | 賛同できない | 無回答 | (%) |
|---------------------------------|-------|---------|-----------|-----------|--------|-----|-----|
| あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか | 66.6 | 22.2 | 2.8 | 5.6 | 0.0 | 2.8 | |



| 問2 入園する時の状況について | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | (%) |
|--------------------------------|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 見学の受け入れについては | 82.4 | 11.7 | 0.0 | 0.0 | 2.9 | 2.9 | |
| 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については | 63.9 | 27.8 | 2.8 | 2.8 | 0.0 | 2.8 | |
| 園の目標や方針についての説明には | 72.2 | 19.4 | 2.8 | 0.0 | 0.0 | 5.6 | |
| 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には | 80.6 | 19.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 保育園での1日の過ごし方についての説明には | 69.4 | 25.0 | 0.0 | 2.8 | 0.0 | 2.8 | |
| 費用やきまりに関する説明については | 66.7 | 19.4 | 5.6 | 5.6 | 0.0 | 2.8 | |

| 問3 保育園に関する年間計画について | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | (%) |
|--------------------------------|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 年間の保育や行事についての説明には | 45.7 | 42.9 | 2.9 | 5.7 | 0.0 | 2.9 | |
| 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては | 44.4 | 33.3 | 13.9 | 2.8 | 2.8 | 2.8 | |

| 問4 日常の保育内容について「遊び」について | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | (%) |
|----------------------------------|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| クラスの活動や遊びについては | 77.8 | 16.7 | 0.0 | 2.8 | 0.0 | 2.8 | |
| 子どもが戸外遊びを十分しているかについては | 91.7 | 2.8 | 0.0 | 2.8 | 0.0 | 2.8 | |
| 園のおもちゃや教材については | 80.5 | 13.9 | 0.0 | 2.8 | 0.0 | 2.8 | |
| 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については | 91.7 | 5.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.8 | |
| 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては | 83.3 | 11.1 | 0.0 | 2.8 | 0.0 | 2.8 | |
| 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては | 77.8 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | 2.8 | 2.8 | |

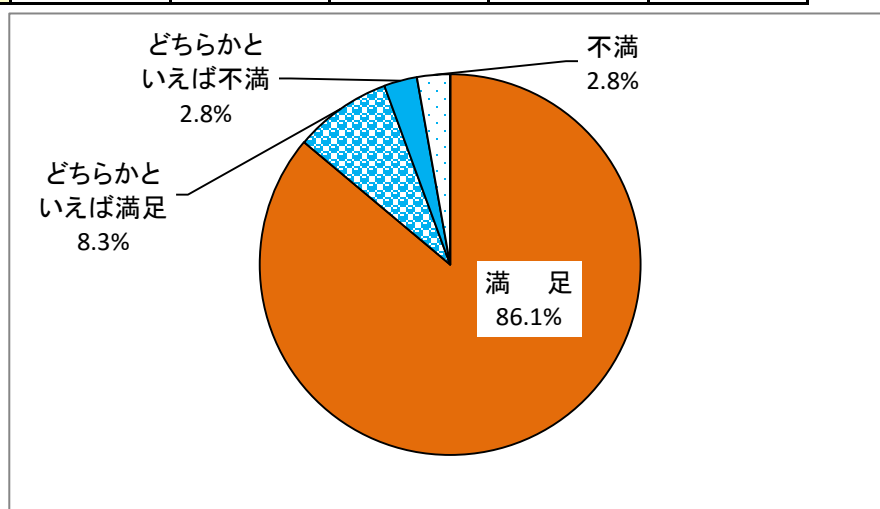
| 「生活」について | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | (%) |
|---|------|------------|------------|-----|------|-----|-----|
| 給食の献立内容については | 91.7 | 0.0 | 5.6 | 0.0 | 0.0 | 2.8 | |
| お子さんが給食を楽しんでいるかについては | 80.6 | 13.9 | 0.0 | 2.8 | 0.0 | 2.8 | |
| 基本的な生活習慣の自立に向けての取り組みについては | 77.8 | 16.7 | 0.0 | 2.8 | 0.0 | 2.8 | |
| 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては | 77.8 | 16.7 | 0.0 | 2.8 | 0.0 | 2.8 | |
| おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては | 83.3 | 2.8 | 0.0 | 0.0 | 11.1 | 2.8 | |
| お子さんの体調への気配りについては | 77.8 | 13.9 | 0.0 | 2.8 | 0.0 | 5.6 | |
| 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には | 66.7 | 16.7 | 8.3 | 5.6 | 0.0 | 2.8 | |

| 問5 保育園の快適さや安全対策などについて | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | (%) |
|-------------------------------|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 施設設備については | 69.4 | 25.0 | 0.0 | 2.8 | 0.0 | 2.8 | |
| お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては | 77.8 | 13.9 | 2.8 | 2.8 | 0.0 | 2.8 | |
| 外部からの不審者侵入を防ぐ対策については | 61.1 | 25.0 | 5.6 | 2.8 | 2.8 | 2.8 | |
| 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については | 69.4 | 22.2 | 2.8 | 2.8 | 0.0 | 2.8 | |

| 問6 園と保護者との連携・交流について | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | (%) |
|--|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については | 68.6 | 14.3 | 2.9 | 8.6 | 2.9 | 2.9 | |
| 園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については | 80.6 | 11.1 | 0.0 | 5.6 | 0.0 | 2.8 | |
| 園の行事の開催日や時間帯への配慮については | 60.0 | 25.7 | 5.7 | 2.9 | 0.0 | 5.7 | |
| 送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については | 58.3 | 27.8 | 11.1 | 2.8 | 0.0 | 0.0 | |
| お子さんに関する重要な情報の連絡体制については | 69.4 | 25.0 | 2.8 | 2.8 | 0.0 | 0.0 | |
| 保護者からの相談事への対応には | 63.9 | 27.8 | 5.6 | 2.8 | 0.0 | 0.0 | |
| 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については | 83.3 | 13.9 | 0.0 | 0.0 | 2.8 | 0.0 | |

| 問7 職員の対応について | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | (%) |
|---------------------------------|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| あなたのお子さんが大切にされているかについては | 77.8 | 19.4 | 0.0 | 2.8 | 0.0 | 0.0 | |
| あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては | 88.9 | 8.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.8 | |
| アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については | 80.5 | 11.1 | 0.0 | 2.7 | 5.5 | 0.0 | |
| 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては | 72.2 | 19.4 | 0.0 | 5.6 | 2.8 | 0.0 | |
| 意見や要望への対応については | 66.7 | 22.2 | 0.0 | 5.6 | 0.0 | 5.6 | |

| 問8 保育園の総合的評価 | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | 無回答 | (%) |
|--------------|------|------------|------------|-----|-----|-----|
| 総合満足度は | 86.1 | 8.3 | 2.8 | 2.8 | 0.0 | |



◆利用者本人調査◆

【実施概要】

- 実施日時：平成28年7月20日、7月22日
- 実施方法：午前中の保育観察時間を中心に、各クラスの観察を実施、また幼児とは会話の中で適宜聞き取り調査を実施。

●0歳児クラス（ひよこ）

登園後、眠くなった子どもから午前睡をします。保育士に抱っこされたり、横になってお腹をさすられたりして入眠します。ミルクを飲む子どももいます。眠くない子どもは自由遊びをしています。廊下を幼児が通ると、おもちゃをわざと落として拾ってもらうなどサークル越しに交流しています。午前睡のときに眠れない2名の子どもは保育士とホールへ行き、1歳児がコーナー遊びを始めたので一緒に加わって遊びます。保育士はそれぞれのペースに合わせて個別に対応しています。おむつ替えは子どもに合わせて一対一で対応しています。起きた子どもからお茶をもらいます。つかまり立ち、はいはい、伝い歩き、歩き回る子どもとそれぞれが布製ボールを追いかけたり、ガラガラと音のするコップを振り回したりと思い思いに動きまわっています。給食はテーブル付椅子に座り、保育士は「美味しいね、モグモグ」と声を掛けて離乳食の食事援助をしています。月齢の大きい子どもは自分で手に持って食欲旺盛に食べています。調乳室の柵につかまり、調乳を待ちきれない様子でミルクを待っています。保育士に抱き上げられ、膝の上で声を掛けてもらい安心して飲む姿が見られます。

●1歳児クラス（あひる）

ホールの机の下にもぐっている子どもがいます。机の下に入り込んだ子どもを5歳児が膝にのせてあやすなど自然に交流している姿が見られます。保育士が絵本を読むと子どもたちは集中して聞いています。絵本を覚えていて、次の言葉を言う子どももいます。部屋の隅ではおむつ替えをしています。保育士は一人終わる毎に子どもの敷タオルを替え、手を消毒しています。うんちの子どもはシャワーで体をきれいにします。ズボンをあげる等、自分でできるところは自分でするように促しています。絵本とブロックのコーナーに分かれて自由遊びをします。しばらくすると、新しいブロックを2種類出し、そのあとはブロックを片付けてボールを部屋中に撒いてボール遊びをします。子どもの様子を見て、おもちゃを入れ替え、飽きないようにしています。もめ事が起こりそうになると保育士が危険のないように、さっと間に入り止めています。給食は、それぞれのグループに保育士が付き、一人一人の子どもの様子を見て食事の援助をしています。子どもたちは、保育士に声を掛けてもらい、手やスプーンを使って積極的に食べています。

●2歳児クラス（うさぎ）

朝の会、お茶を済ませてリズム遊びをしています。保育士が歌いながら、かかし、かえるなどになっていくのを子どもたちは真似て動きます。やりたくない子どもを自然に誘いますが、無理強いはしません。保育士は「今日は小麦粉粘土をします」と伝え、ボールを出して「何するんだろう！」小麦粉を出して「ほら、粉だよ」水を入れて「ぺたぺただな」などと盛り上げ、子どもが興味を持つようにしています。最初は「ぺたぺただ」と嫌がっていた子どもも、粉を足してもらい、上手にこねられるようになると集中します。蛇、ドーナッツ、ハンバーガー、おだんご等、保育士がやってみせると、子どもも作りだし、「ほらピザだよ」などと見せ合うようになり言葉も出てきます。子どもが穴をあけると保育士が「メガネだ！」腕に巻いた粘土

に文字盤を付けて「時計！」などと、子どもがやったことを拡げてヒントを出してリードすると、子どもも真似ていろいろ作っていきます。手洗いを済ませた子どもは箱椅子に座って給食を待ちます。“バイキンマン”のパペットを使って子どもの手洗いを促しています。保育士が絵本を読んでいる間、ほかの保育士が配膳をします。「いただきます」と声を合わせて、子どもたちは食べ始めます。テーブルにそれぞれ保育士が付き援助します。みんな一人で上手に食べています。

●3歳児（きりん）・4歳児（らいおん）・5歳児（ぞう）合同 散歩・小雀公園

朝の会、点呼のあと、散歩の行き先を子どもと話し合っ決めて決めます。子どもたちは一斉に自分の希望を言い、保育士が皆の意見をまとめて小雀公園に出かけます。異年齢で手をつないで歩きます。保育士に言われなくても入れ替わり小さな子どもが内側になるようにしています。アリ、トマト、カマキリ、ギンヤンマ、カブトムシ・・・と見るもの全てが話題になります。公園に着いたところで水飲み、トイレタイムです。待っている子どもは走り回ったり、大きな蜘蛛やザリガニを探したりしています。公園の広い原っぱで自由遊びです。笑いながら走る子ども、花束を作る仲良し、保育士も一緒にグループでかくれんぼ、カエル、バッタを捕まえる子どもと思いつきのことをしています。小さなアオガエルがたくさんいて子どもたちは夢中です。木登りする子ども、帽子でセミを捕まえようとする子どもなど、みんな手づかみで虫を捕まえています。保育士が紙袋を渡すとその中に捕獲物を入れます。保育士は一緒に楽しんでます。保育士同士はお互いに声を掛けあい、全ての場所が見えるようにしています。鬼ごっこや氷鬼などの集団遊びをリードし、子どもが身体を動かせるよう働きかけています。保育士はけんかで手が出そうになると間に入って仲介しています。仲介するときは必ず自分で意見を言えたことをまず誉め、そのあと、相手が嫌な思いをしたことを説明し、お互いの気持ちを聞いています。保育士の言葉遣いは優しく、丁寧で、子どもに自分の思いを優しい言葉で言うよう盛んにお手本を見せています。帰るときに、紙袋や手の中の虫をどうするか話し合い、それぞれが納得して放していました。

●食事

3歳児は散歩から帰り、園庭のシャワーを浴びます。着替えが済んだ子どもから箱椅子に座って保育士に絵本を読んでもらいます。保育士が一人ずつご飯と汁物をよそって配膳、給食室で盛り付けられた主菜・副菜の皿を配膳します。その間子どもたちは手を膝におとなしく待っています。「いただきます」を一緒に言って食べ始めます。食欲旺盛でほとんどの子どもが魚から食べます。魚の骨は、調理の段階であえて取らず、子どもたちは自分で除けたり、保育士に食べやすい大きさに分けてもらい、骨を取ってもらったりしていません。盛んにお代わりもしています。

4・5歳児は当番がテーブルを拭き、そろったテーブルの名前を呼びます。呼ばれた子どもから一列に並び、調理室に茶碗とコップ、次はおかずと2回取りにいきます。おかずを受け取る時は調理室職員と会話をしています。当番が箸を配り、保育士が汁椀を配膳します。「いただきます」をして低いテーブルに正座して食事をします。賑やかに会話しながら、皆楽しそうにお代わりもして良く食べています。食べ終わったテーブルから「ごちそうさま」をして、それぞれが食器を調理室に下げに行き、渡すときも会話をしています。当番はテーブルを拭いて片付け、雑巾で床を拭きます。

●保育室内お祭り（3・4・5歳児合同）

保育士から「お祭りには何があるかな？」と聞かれて子どもたちからはラムネ、金魚、焼きそば、リンゴあめなどの声があがります。子どもたちに折り紙や色画用紙、新聞紙などを使ってそれらを作ることを伝え、実際に赤い紙で包むとリンゴになるねとやって見せます。子どもたちもいろいろ提案しています。テーブル毎に制作をしています。保育士に言われる前に自分から糊とクレヨンを持ってくる子どももいます。「先生、金魚できた」「すてき、いいね」と褒めてもらいます。色紙とクレヨンでトウモロコシを作り、お面の絵に角を描いている子どもがいます。丸や四角に切った紙に数字を描いているコーナーもあります。制作が終わると今度はお店屋さんの準備です。保育室全体を使って各コーナーに食べ物屋さん、ビニールプールの金魚屋さん、輪投げ屋さん、銀行もあります。「そう組さんは長い針6までお店屋さんをやって下さい。そのあとは交代、お店屋さんはお金がないとできません。銀行に行ってお金をもらって下さい」と保育士が言ってお祭りが始まります。子どもたちは盛んに声を張り上げて「いらっしゃい、いらっしゃい」「いかがですか」と自分たちで作った作品をお店に並べ、お客さんを誘います。招待された園長、栄養士、調理士、が来てお客さんになってくれました。らいおん組が交代してお店屋さんになりました。保育士に連れられた2歳児のうさぎ組さんも来て金魚釣りや買い物を楽しんでいます。うさぎ組さんは袋物を用意して自分の選んだお面やトウモロコシなどを大事にしまっています。子どもたちは自分たちでそれぞれ自由にお店に並ぶものを制作し、お店屋さん、お客さんといろいろ体験してとても張り切っていました。

◆ 事業者コメント ◆

このたびは、よこはま地域福祉研究センターでの第三者評価を受審いたしまして、改めて日々の保育を振り返り、保護者の方々の率直なご意見などを知り、見直しをしていくよい機会となりました。

ひとつひとつの丁寧な対応、そして保育園が何を大切にしているのかを保育審査の方も受け止めてくださっていることに感謝いたします。

全職員が自己評価を行う中で保育内容と、必要書類などを細かく見直し、よりよい内容を論議するよい機会となりました。

マニュアルや記録についてご指摘があり、職員も改めて認識を深めることができました。小雀みどり保育園では人とのかかわりを大切にしています。この内容の意味が何か、受け止める人によっても違いがあるので互いに言葉に表すことで、わからないことが何か、理解し合い、学び合い、伝えあっていきたいと考えています。そのため、必要な事項でマニュアルはあってもそれだけに頼るのではなくその場の状況に応じて対応することも大事だと考えています。

そして、できるだけ職員同士が話し合い、柔軟に対処し、応用も含めて行えるよう今後も一層努力をしていきたいと思っています。保護者の方のなかには、思いを保育園に伝えきれずにいることもわかりました。子育てをする仲間としてよりよい人間関係が継続できるよう今まで以上に努力をしていかなければならないことも学ばせていただきました。

様々な事柄を受け止め保育の充実に生かし、子どもたちを真ん中にしながら大人たちの果たす役割をしっかりと理解し今後もより良い環境づくりのために努力してまいります。ありがとうございました。

福祉サービス第三者評価 評価機関

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 17 番地 金井ビル 201 号室

TEL : 045-228-9117 FAX : 045-228-9118

URL : www.yresearch-center.jp/ Email : top@yresearch-center.jp



かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第 26 号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第 17 号

川崎市福祉サービス第三者評価認証機関 第 14 号

横浜市指定管理者第三者評価機関 認定番号 25-01

東京都福祉サービス第三者評価認証評価機関 認証番号 機構15-232

全国社会福祉協議会社会的養護関係施設第三者評価機関 2510-002-02
